

令和 4 年度久喜市高齢者実態調査報告書に関する質問への回答

質問者	ご意見・ご質問	回答									
<p>小山 道子 委員</p>	<p>P7(3) 配布数及び回収結果について 要介護認定者調査（在宅介護実態調査）と介護保険施設等入所者調査の有効回収数が 63.3%～55.4%と低いのはどうしてでしょうか。 参考：有効回収率</p> <table border="1" data-bbox="483 568 1155 762"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要介護認定者調査</td> <td>62.9%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>介護保険施設等入所者調査</td> <td>63.9%</td> <td>55.4%</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R4年度	要介護認定者調査	62.9%	63.3%	介護保険施設等入所者調査	63.9%	55.4%	<p>要介護認定者調査（在宅介護実態調査）及び介護保険施設等入所者調査については、令和元年度調査でも、他の調査に比べ、有効回収率が低い結果となっております。1番の要因としましては、要介護認定を受けている比較的年齢の高い方に、回答を依頼しているものであることが考えられます。 また、いずれの調査もご家族等の代筆可能としておりますが、ご家族等の状況やコロナ禍の影響により、協力を得にくかったものと推測しております。</p>
	R元年度	R4年度									
要介護認定者調査	62.9%	63.3%									
介護保険施設等入所者調査	63.9%	55.4%									
	<p>P57(2) 地域活動への参加者としての参加意向について 「参加してもよい」5割弱とありますが、具体的な活動は何があるのでしょうか。</p>	<p>問 41 は、地域住民の有志によって、グループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、参加したいかどうかを問う設問でした。 本市には、健康づくり活動や趣味のグループ活動を行う団体が多数ございます。一例をあげますと、健康づくりの分野では、ウォーキング、太極拳、ダンス、体操、ヨガ、各種スポーツなど。趣味の分野では、水彩画、コーラス、吹奏楽、将棋、カラオケ、俳句など。各団体の活動内容は、市のホームページ（市民活動団体）に掲載しています。</p>									
	<p>P112(10) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて 移送サービスが第1位となっておりますが、具体的にはどのような移送サービスがあるのでしょうか。</p>	<p>介護保険が適用される移送サービスとしては指定訪問介護事業所が行う「通院等乗降介助」があり、通院等の際に訪問介護員等が自らの運転する車両への乗降の介助を行うサービスです。介護サービスのためケアプランに位置付けられている必要があります。移動の際の交通費に関しては実費負担となります。</p>									

		<p>介護保険適用外では民間業者が行う「介護タクシー」と呼ばれるサービスがあり、利用条件の制約を受けることなく、乗降の介助や移動サービスを受けることができます。費用については全額実費負担となります。その他、市交通企画課で行っている事業が3つあり、「ふれあいタクシー」は75歳以上の方や要支援・要介護認定を受けている方であれば利用登録でき、最大でタクシー運賃の半額程度の補助を受けることができます。</p> <p>「デマンド交通」は市内在住者対象で、「菖蒲地区」と「栗橋・鷺宮地区」のそれぞれのエリア内でのみの運行。路線を定めず、自宅等からあらかじめ定められた目的地等（乗降ポイント）で乗り降りできます。利用の際は、利用登録と事前予約が必要になります。</p> <p>「市内循環バス」は登録不要で誰でも利用でき、旧久喜地区のエリア内を定期運行しております。</p>
	<p>P214 (4) ケアマネジャー調査で不足している介護サービスについて、市ではどのように考えておられるのでしょうか。</p>	<p>第9期計画の策定にあたっては、これまでの給付実績や今後の被保険者数の推計等を参考に、各介護保険サービスの利用見込量を算出し、今後の施設整備計画を検討いたします。ケアマネジャー調査で得られた結果につきましても、サービス見込量算出等の参考とさせていただきます。</p>